

日本酒フェア 2012

特集
レポート

大盛況！復興への意気込みも新たに、業界渾身のビッグイベント



45 都道府県の極上銘酒と全国新酒鑑評会の入賞酒が一堂に—日本酒業界渾身のビッグイベント「日本酒フェア 2012」が6月15日、東京豊島区の池袋サンシャインシティ・ワールドインポートマートで開催され、今回もおおぜいの日本酒ファンではち切れんばかりの活況を呈しました。東日本大震災から1年余り、今なお続く後遺症の中で、復興への意気込みも新たに繰り広げられた元気一杯のイベント風景をレポート。



年に一度の日本酒の祭典。「日本酒の安心PR」にも共感。



オープニング・セレモニーでのテープカット。写真左から、

中央会の土井技術委員長、酒類総合研究所の木崎理事長、中央会の篠原会長と佐浦需要開発委員長、日本酒マスコット・おちょくん

来場者数5500人。女性、若者で会場は熱気いっぱい

「日本酒フェア」は、日本酒造組合中央会主催の「全国日本酒フェア」と、中央会&(独)酒類総合研究所共催の「全国新酒鑑評会公開さき酒会」を組み合わせた豪華イベント。「年に一度の日本酒の祭典」として、日本酒ファンや流通・料飲関係者、そしてメディア関係者からも熱い注目が注がれています。

6回目を迎えた今回も、若者のカップルや女性グループを中心に5500人(対前年400人増)もの来場者が殺到して、熱気あふれるイベント風景を展開。また、会場の一画では、東日本大震災で被災した蔵元の復興の様子を伝える写真展や、日本酒の安全性を訴える「安心PR」のパネル展示なども行われ、困難の中、安全・安心な酒づくりに取り組む日本酒業界の元気な姿が来場者の共感を集めていました。

全国の応援で消費アップ。蔵元も力強く復興(篠原会長)

午前10時45分から行われたオープニング・セレモニーでは、中央会の篠原会長と酒類総研の木崎理事長が、それぞれ「皆さんの応援のお陰で、昨年の日本酒消費は16年ぶりに対前年増となった。被災地の蔵元も力強く復興に向かっている」(篠原会長)、「今年は全国新酒鑑評会第100回という記念の年。今日は全国の杜氏さんの情熱と技術の粋を飲み比べて、日本酒への理解を深めて下さい」(木崎理事長)と主催者挨拶した後、テープカットを行って祭典の幕を切って落としました。



来場者が続々



蔵元から届いた元気の便り



日本酒は安全です



メディアも熱い注目

笑顔と熱気。第6回「全国日本酒フェア」の会場から



笑顔と熱気にあふれたイベント会場。初企画のイートイン・コーナー（下段左の2点）も好評でした。



45都道府県の日本酒727銘柄を展示・販売

「第6回全国日本酒フェア」では、鹿児島、沖縄を除く全国45都道府県の酒造組合と、日本酒造青年協議会など関係6団体が結集して、自慢の日本酒727銘柄の試飲・販売を繰り広げました（11時～20時）。可愛いゆるキャラを登場させたり、特産物のおつまみをサービスしたりと、工夫を凝らした各ブースの熱烈アピールに、ある来場者からは「イベントのテンションが高くて圧倒されました」との声も。出展した県組合関係者も「若い人が多くて頼もしい限り。このイベントは長く続けなければ」と強い手応えを感じ取った様子でした。

また、今回は初めてイートイン・コーナーを設置して軽食を提供したほか、味噌、漬物業界などの協賛4団体も初出展してお酒のつまみを試食・販売。来場者は、日本酒や蔵元グッズが当たる抽選会なども含めて、盛りだくさんの企画を一日がかりでたっぷりと堪能していました（来場者の感想は5頁、各ブースの出展風景は6～7頁に掲載）。

★「クールスタイル」などテーマに日本酒セミナー3題

恒例の「日本酒セミナー」では、トータル飲料コンサルタントの友田晶子さんと中央会の濱田由紀雄理事、(独)酒類総合研究所・情報技術支援部門の後藤邦康部門長の3人が、それぞれ30分間のミニ講座を行いました。

このうち、夏の暑さを日本酒で涼しく乗りきろうと提案した友田さんの講演「夏の日本酒クールスタイル」では、オリジナルカクテルの「日本酒+カシス」「サムライロック」を実際にテイスティング。また、日本酒の多彩さを解説した濱田理事の「日本酒をもっと楽しむために」、鑑評会の歴史をたどった後藤部門長の「全国新酒鑑評会百回記念講演」も、参加者にとっては日本酒の深い魅力に触れる貴重な機会となったようです。



（上）左から、講師を務めた友田、濱田、後藤の3氏
（下）友田氏のセミナーの様子（左）と、日本酒クールスタイルの試飲風景

平成23BY全国新酒鑑評会「公開きき酒会」の様様



100回目の鑑評会入賞酒424点を一挙公開

日本酒の酒質と技術の向上を目的に 1911 年（明治 44 年）にスタートして以来、今年で第 100 回を迎えた全国新酒鑑評会。記念すべき節目となった今年の鑑評会では、総出品数 876 点のうち 428 点が入賞（うち 247 点が金賞受賞）していますが、その入賞酒の 424 点を一挙公開したのが「23BY 全国新酒鑑評会公開きき酒会」（第 1 部 = 10 時～13 時、第 2 部 = 16 時～20 時の 2 部入替制）。



鑑評会入賞酒を集中的にきき酒できる都内で唯一のイベントとあって、会場には「吟醸酒の香りと味わいが調和した素晴らしい酒」（鑑評結果の講評）の味を体験しようと多勢の日本酒ファンが来場。地域別に分けられた 8 つブロックを巡りながら、最高レベルの技の違いをじっくりと確認していました。

★ 全国新酒鑑評会 100 回を記念して特設コーナーを開設

今回大きな話題を集めたのは、酒類総研と中央会が特設した全国新酒鑑評会 100 回記念コーナー。鑑評会の歴史や役割を一覧できるパネルや、故大平正芳氏以降 20 人の歴代首相が揮毫した「國酒」の色紙の展示などを行ったもので、ある男性は「こんなものがあったんですね。書体に人柄が出ていてとても興味深い」と、ケータイでパチリ。このほか酒類総研では、赤レンガ酒造工場（東京・滝野川）で醸した純米大吟醸酒の試飲サービスなどを行って、来場者の人気を集めました。



全国新酒鑑評会100回記念コーナー。歴代総理の「國酒」揮毫が話題に。



赤レンガ工場特性吟醸酒の試飲コーナー

来場者のみなさんに聞きました



「全国日本酒フェア」の会場でー「震災を機に日本酒党に」「楽しくて胸がドキドキ」



- 実は去年、もっと座れる場所が欲しいってアンケートに書いたんです。今回は休憩所もたくさんあってとても楽。イートイン・コーナーもいいアイデアです。会場も広がって、全体に、これまでよりゆったりとイベントを楽しめました(一般、女性)。
- テンション高いですね、このイベント。蔵元さんの対応も熱心だし、会場の雰囲気も華やかで、圧倒されました。日本酒を飲み始めたのは去年から。やっぱり震災で被災した蔵を応援したいという気持ちですね。それと、注文がひとつ。きき酒会場で好みの酒を見つけたんですが、日本酒フェアの会場では売っていませんでした。そういう点はもっと連動させてほしい(一般、男性)。
- 初めて来ました。日本酒好きの知り合いから評判は聞いていましたが、確かにすごい人だし、銘柄も豊富でビックリしました。まだ少ししか回ってないんですけど、楽しいことがいっぱいありそうで、会場に入ったときから胸がドキドキしています(料飲店、女性)。
- (日本酒クールスタイルについて)おもしろいセミナーでした。日本酒っていろんな飲み方ができるんですね。熱燗が熟年夫婦の味なら、クールスタイルは恋人の味って感じでしょうか。機会があったらうちの店でもやってみたいと思いますね(料飲店、女性)。



「公開きき酒会」の会場でー「やっぱり日本酒はおいしい」「絶対に外せないイベント。長く続けて」



- やっぱり日本酒はおいしい。改めてそう思いました。全部を回ることにはできないので、今回は東北と九州の出品酒を中心にきき酒しましたが、それだけでも、日本の酒づくり文化の厚みを感じられました。とても幸せです。(一般、女性)。
- これだけハイレベルな酒をまとめて試飲できるのは、このイベントだけ。酒を扱う商売をしている者にとっては、絶対に外せません。できる限り長く続けてほしい(酒販店、男性)。
- (鑑評会 100 回記念コーナーで)100 年ですか。滝野川の赤レンガに行ったことがありますけど、すごい歴史を感じました。歴代総理の國酒の色紙も面白い。こんなものがあつたんですね。書体に人柄がにじみ出ていてとても興味深く見ました(一般、男性)。

第6回「全国日本酒フェア」 各県酒造組合・関連団体・協賛団体の出展風景

★ 各県酒造組合のブースから



北海道



青森県



秋田県



山形県



岩手県



宮城県



福島県



群馬県



茨城県



栃木県



埼玉県



千葉県



東京都



神奈川県



山梨県



長野県



新潟県



福井県



石川県



富山県



静岡県



愛知県



三重県



岐阜県



滋賀県



京都府



大阪府



奈良県



和歌山県



兵庫県



岡山県



広島県



鳥取県



岩手県



山口県



愛媛県



徳島県



香川県



高知県



福岡県



佐賀県



長崎県



大分県



熊本県



宮崎県



★ 関連団体のブースから



日本酒造青年協議会



日本酒造協同組合連合会



長期熟成酒研究会



日本酒イスマネットワーク



東京農大花酵母研究会



ワイングラスでおいしい
日本酒アワード



日本酒がうまい推進委員会



★ 協賛団体のブースから



全日本漬物協同組合連合会



全国珍味商工業協同組合連合会



みそ健康づくり委員会



全国米穀工業会